製品仕様

品 番	炭素繊維目付量 (g/㎡)	設計厚さ※1 (mm)	シート幅 (mm)	シート長さ (m)	引張強度※2 (N/mm² 又は MPa)	ヤング係数(引張弾性率) (kN/mm² 又は GPa)	
						建築※3	土木※4
TAC-200	200	0.111	250 330 500	50	3400	230	245
TAC-300	300	0.167					
TAC-400	400	0.222	500				
TAC-450	450	0.250					
TAC-600	600	0.333					

※1　炭素繊維の密度を1.8g/cm³として算出

※2　含浸接着樹脂を含浸、硬化させた連続繊維補強材としての値
※2　(一財)日本建築防災協会「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」における値
※2　国土交通省「あと施工アンカー・ 連続繊維補強設計・施工指針 平成18年7月」における値
※2　(公社)土木学会「コンクリートライブラリー101　連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針」における値

※3　(一財)日本建築防災協会「2010年改訂版 連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」における値
※3　国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針 平成18年7月」における値

※4　(公社)土木学会「コンクリートライブラリー101 連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針」における値
※4　建設省土木研究所 構造橋梁部橋梁研究室/炭素繊維補修・補強工法技術研究会「コンクリート部材の補修・補強に関する共同研究報告書(III)」における値

施工手順例

下地処理
- サンダーまたは高圧洗浄、ケレンなど
  ※下地の劣化が激しい場合はエポキシ樹脂モルタルによる断面修復および、ひび割れ補修などが必要です。

↓

プライマー塗布 ボンド E810L
- ローラー塗布
  (0.1～0.2kg/㎡)

↓

下地調整 ボンド E395
- 左官コテなどで塗布
  (1.0～1.5kg/㎡)

↓

下塗り ボンド E2500
- ローラー塗布
  (0.4～1.0kg/㎡)※

↓

タナクロス貼り付け
- タナクロスを貼り付けます

↓

目詰・脱泡押え ボンド E2500
- ローラー塗布後、脱泡ローラー、ゴムベラ押さえ処理
  (0.2～0.6kg/㎡)※

↓

仕上げ
- 仕様は状況により異なります

必要に応じ積層を行う

エポキシ樹脂推奨品

	製品名	メーカー
プライマー	ボンド E810L	コニシ㈱
下地調整材	ボンド E395	
エポキシ樹脂	ボンド E2500	

※塗布量はタナクロスの目付量によって変動します。